

令和7年度 市政に関する市民懇談会記録

日 時 令和7年8月30日（土）午後2時～午後3時40分
会 場 西那須野公民館 大会議室
参加人数 20人
出席者 市長、企画部長
企画政策課長、企画政策課長補佐、情報戦略係（事務局）
テ ー マ 「那須塩原のこれからとわたしたちのまちづくり」

《意見交換》

- 参加者：** 若者支援の強化に取り組んでほしい。全国的に子供や若者の自殺率が高く、悩みの相談先が分からない人も多い。公民館などでもっと気軽に相談できるようになればと思っている。
- 市 長：** デジタルツールを活用して若者が声をあげやすくする仕組みや、対面での相談機会を検討していきたい。
- 参加者：** 性的マイノリティの子どもたちの多くが悩み、生きづらさを抱えている。学校として「理解し、尊重し、支援する」という姿勢や取り組みを示してほしい。
- 市 長：** 性的マイノリティの人は、学校だけでなく職場や地域にもいるため、人権の問題として、性的マイノリティに関する意識の醸成が大切だと考えている。
- 参加者：** 駅前の駐輪場について、黒磯は無料で西那須野は有料となっており不公平ではないか。
- 市 長：** それぞれの地域の特性があるが、駐輪場の実態については後で確認したい。
- 参加者：** 便利な社会になったことやコロナ等で子供たちの活動量が減り、体幹が弱くなっている。体を使うことの必要性を伝えたい。
- 市 長：** 子供たちの活動量の減少は問題である。若いころから体を動かすことの重要性は感じている。
- 参加者：** 近所に熊が出ており、子供たちの安全に危機感を覚えている。太陽光パネルやキャンプ場など山の開発が影響しているのではないか。
- 市 長：** ボランティアや職員で見守りのパトロールを行っている。大規模な山の開発は法律的に難しくなっているが、市民の安全を守る取組を進めていきたい。
- 参加者：** 高齢者の外出支援の対象にならない人や、ゆータクの利用が不便な人がいる。また、稲村・高林地域の地域包括支援センターのエリアが広いため、設置を検討してほしい。

- 市長：** デマンド交通については、意見を聞きながら制度設計の際に検討していきたい。包括支援センターの件は担当課へ伝え、高齢者の足の問題に役立つ制度を作っていきたい。
- 参加者：** 広島への中学生派遣による平和学習、水田の宅地化に伴う下水道整備の推進、新庁舎建設における西那須野と黒磯地区の一体感醸成、田園空間博物館などの文化的・歴史的なものの保護に取り組んでほしい。
- 市長：** 平和について考える機会は今後も続けていく。下水道は人口増加エリアを中心に都度見直ししながら進めていく。イベントなどを通じて地域の一体感醸成に努めたい。田園空間エリアも日本遺産の場として活用できると考えている。
- 参加者：** 人口減少の中、那須塩原駅周辺でのまちづくりや新庁舎建設は維持管理コストが懸念される。計画の見直しや、黒磯・那須塩原・西那須野の3駅のエリアの将来像をどう考えているのか。
- 市長：** 今後インフラ整備は選択と集中を行っていく。那須塩原駅周辺はポテンシャルがあり、しっかり投資して活性化すれば必ずリターンがあると確信している。各地域の特色を生かしつつ、那須塩原駅周辺は魅力を表現する場所にしたい。
- 参加者：** 市民懇談会で出された意見の進捗状況を示してほしい。また、移動難民について、市は市民とともにサポートする方にも目を向けてほしい。
- 市長：** 対応可能なものは計画的に進めており、明確な時期を示すことは難しいが、ホームページで懇談会の結果は公開している。移動サポートについては、地域で活動している方や市民の皆様と一緒に進めていきたい。
- 参加者：** 水源地や重要な土地が外国資本に取得される不安があるため、土地取引の規制を強くしてほしい。
- 市長：** 市独自での規制や罰則設定は難しい部分もあるが、国や県と連携し、今後の動向を注視して留意していきたい。
- 参加者：** 懇談会が市民の意見に答えるだけになっている。市長、議員、行政からも課題や協力してほしいことを発信し、双方向でやり取りをしてほしい。
- 市長：** 御指摘の通り、私の方からも発信しつつ、今後も市民の皆様との対話を続けていきたい。